

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

謹賀新年

庚子の年頭に当たって

—更に大災害に強い病院を目指して—

和歌山ろうさい病院

病院長 **南條 輝志男**

令和2年・庚子(かのえ・ね)の念頭に当り、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、令和初の佳き新春をお迎えのことと存じます。

昨年は皆様におかれましては、如何な一年でしたでしょうか？

国内外では一昨年と同様、立て続けに大災害に見舞われ、また煽り運転や高齢ドライバーによる暴走事故、京都アニメーション放火事件、沖縄の首里城焼失、徴用工問題などによる最悪の日韓関係など暗いニュースが多かった中、スマイリングシンデレラ(渋野日向子選手)が全英ゴルフOPで優勝し、ラグビーW杯日本大会における日本代表のワンチームで猪年に相応しい猪突猛進の活躍で初の8強入りを始め、大坂なおみ選手の全豪テニスOPでの優勝や野球プレミア12でサムライJAPANが初優勝など、スポーツ選手の国際舞台での大活躍に元気をいただきました。そして、吉野彰先生が日本人28人目となるノーベル賞(化学賞)を受賞されたことは私達日本人に誇りを与えて下さいました。そして何より、多様な花(人々)が百花繚乱に咲き乱れ、新たな文化が生まれることを願う意味での「令和」に改元され、雅やかな各種式典の下、新天皇陛下がご即位されましたことは、日本国民に生まれて来て良かったと再認識させていただきました。

昨年も当院の皆様がご活躍され、3月28日に中 啓吾副院長が和歌山県医学研究奨励賞を、11月20日に岩橋佳代師長が和歌山県ナース章をご受賞されましたことを謹んでご報告申し上げます。また、昨年は医師の働き方改革や増税などの影響で、全国的に病院運営が更に厳しくなってきましたが、当院では素晴らしいワンチームのチーム医療とICUの病床増(4→6床)による重症患者の管理機能アップや7月1日には岩崎安博救急科部長をお迎えし、救急部門の更なる充実が図られ、そして何より、地域住民や連携医療機関の皆様方の温かいご支援により、今年度も昨年度以上の健全運営が計れる見通しです。

今年はオリンピック・イヤー、日本中が盛り上がる年になると期待されますが、医療を取り囲む環境は更に厳しさを増すのでは無いかと危惧されます。そんな中、当院は災害拠点病院として大幅な機能拡充が強く望まれています。そこで今年はDMAT機能のアップのため、ハイメディック車の配備を始め、大災害時の自家発電力や受け入れ可能患者数の大幅増を目指し、災害医療対応棟(仮称)を新築すべく、行政との交渉を積極的に進め、当院の飛躍的な発展に継げるべく努力をしたいと考えていますので、皆様の更なるご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

本年も皆様にとりましてご多幸の年になりますよう、祈念申し上げます。



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181(代) FAX.073-452-7171(代)・073-451-3788(地域連携室専用FAX)

E-mail:soumu@wakayamah.johas.go.jp URL:http://www.wakayamah.johas.go.jp

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

小児科のご紹介

小児科部長 上田 美奈

和歌山ろうさい病院小児科は昭和59年4月に開設され、地域の小児医療の中核を担ってきております。現在は上田美奈、小森有紀、大元浩明、長谷朋香の4名体制で診療に当たっております。非常勤として神経外来には宮代英吉、津田祐子、心エコー外来には根来博之が当たっております。

少子高齢化時代が到来し、日本における出生数は年々減少しております。しかしながら、小児科には様々な疾患の患者様が受診されます。特に最近問題となるのはアレルギー疾患、小児における生活習慣病、発達や心の問題を抱えているお子様の増加です。環境の変化が大きな要因であると思われま

す。アレルギー疾患では、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、食物アレルギーなどです。乳幼児期から湿疹がひどい場合には、鶏卵、牛乳などの特異的IgEが上昇しており、食事制限を余儀なくされていることがあります。しかし、根拠なく食事制限を継続することは、成長発達に悪い影響を及ぼしません。当院では、食物負荷試験を行ない、子どもたちがどれくらいのものであるかを見極めるようにしております。また、アトピー性皮膚炎がひどい場合には皮膚科へ紹介し、協力して見るようにしております。

生活習慣病は特に肥満が問題となります。近年小学生における肥満が増加してきています。栄養士からの適切な栄養指導を行ない、定期的に肝機能、腎機能、血糖などを外来でフォローしております。必要があれば、長期休暇を利用して、教育入院も行なっております。

発達や心の問題を抱えているお子様は、大元が中心となり、発達外来等でフォローさせて頂いております。

少子化が進む時代ですが、産科と連携をとりながら安心して出産をしていただける病院を目指しております。当院では在胎34週以降、出生体重1500g以上の児から管理させて頂いております。重症のお子様は和歌山県立医科大学NICUへ搬送させて頂きますが（新生児科医が新生児専用救急車で出迎えに来てくれます）、状態が安定した場合には、母子分離が長期間にならないように、和歌山県立医科大学と連携をとりながら、バクトランス頂き、助産師と協力しながら母児をサポートしていただけるようにしております。また、退院後はワクチン接種などを含め、地域の保健所と密に連絡を取りながら、成長、発達を長期的にサポートしていただけるようにしております。

今後も地域の医療機関の先生方と連携をとりながら、子どもたちの健康を守ることができるよう精進していきたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



治療と仕事の両立支援について

両立支援コーディネーター 松本 友香

当院には「治療と仕事の両立支援窓口」があることをご存知でしょうか？そもそも「治療と仕事の両立支援」とはいったい何だろう？そう思われる方がまだまだ多くいらっしゃると思います。

厚生労働省は、治療と仕事の両立支援は「病気を抱えながらも働く意欲・能力のある労働者が仕事を理由として、治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと就労を続けられること」と位置付けております。

当院では両立支援コーディネーターが配置されております。両立支援コーディネーターとは、患者様からの依頼を受けて、患者様に寄り添いながら相談支援を行い、労働者である患者様、主治医、企業、産業医のコミュニケーションのサポートを行う担当者のことです。

両立支援の意義は就労支援＝意思決定支援をさせていただくことで、患者様の労働意志があってこそその支援となり、患者様ご自身が仕事に関する問題を解決するための行動をサポートします。

支援のプロセスは、まず、問題の明確化を行い、治療状況、就労状況、家族環境、患者様の思い等を聴き取り、問題の整理をさせていただきます。次に問題解決のために主治医、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ等の多職種チームで具体的な方針を検討し、専門的な意見を出し合い、解決策を導き、患者様ご自身に解決策を実行していただけるよう働きかけます。その後、必要に応じて、両立支援コーディネーターから職場へ連絡させていただいたり、場合によっては職場訪問させていただき、職場の担当者の方とともに両立に向けて話し合いをさせていただくこともあります。

重篤な病気の診断を受けた時点で精神的なショックを受け、即座に退職を考えたりしますが退職する前に早期から、そして、継続的に支援させていただくことが重要だと考えます。時期により、不安や悩み、直面する問題が変化することもあるため、多職種チームで支援し、常時、相談できる体制作りを心がけています。今後の見通しを立てることができるよう適切な時期に丁寧な情報提供をさせていただきます。

患者様と企業、そして、病院との橋渡しになれるよう努めさせていただきますのでお気軽にご相談ください。



助産外来

「安心して出産・育児をしていただくために」

和歌山ろうさい病院の産婦人科では安心・安全な周産期医療の確立に取り組んでいます。まず、2012年に助産外来を開設し8名のアドバンス助産師が医師と協力しながら正常な妊娠経過をたどっている妊婦さんに、従来の保健指導に加え、妊婦健診を実施しています。

アドバンス助産師は、分娩介助100例以上、妊娠期の健康診査200例以上等の助産ケアの実施と、到達要件となる必須研修を受講し日本助産評価機構に認定されたより専門性を備えた助産師を指し、自律して助産ケアを行うことができます。助産外来を受けていただく対象は医師と相談の上、本人・家族に同意を得られた方です。病棟の助産師が、外来から入院まで継続して関わり、ご希望に応じご家族も赤ちゃんの成長を実感できるよう超音波検査に同席していただくなど、ご家族ともに誕生の準備に協力させていただきます。また、助産外来は、完全予約制(火・木の9時~16時の30分間)で、快適なマタニティーライフを過ごせるよう通常の妊婦健診よりリラックスできる環境を整備しています。さらに診察や処方産科医師に直ぐに依頼できるので安心してご利用いただけます。健診スケジュールは医師と交互に妊婦健診を担当し、医師の健診と同様に和歌山市の補助券を使用することができます。

総合病院でのチーム体制としては、他の診療科との連携による妊娠・出産・産褥期を通して全身管理、助産師だけでなく薬剤師・管理栄養士も加わったマザークラス、日本糖尿病療養指導士の資格を有する助産師による妊娠糖尿病への指導を実施しています。

産科病棟では、入院までに定期的なカンファレンスによる支援体制の充実と、分娩室周辺の女性専用フロアの設置など環境への配慮も行っています。新生児に対しては入院中に小児科の診察はもちろん、聴力検査、毎木曜に整形外科の診察も受けていただけます。食事では管理栄養士の献立に毎日おやつ(金曜は手作りケーキ)と夜食のクロワッサンやビスケット等が付き楽しんでいただけるほか、コースディナー2人分のお祝い膳も準備しています。

安心して出産していただけるよう、看護師は新生児心肺蘇生「専門コース」2名、「一次コース」10名、助産師においては全員「スキルアップコース」を修了しています。全スタッフが毎日スキルラボによる新生児心肺蘇生訓練を行い技術の向上に努めています。母乳育児についても積極的に指導・ケアに取り組み、退院後も母乳外来で乳房マッサージや母乳育児のサポートをしています。他施設で出産された方も対象ですので是非ご利用ください。私たちは、妊産婦さん主体で妊娠・出産・育児に臨めるよう寄り添う助産ケアを提供しています。



和歌山県ナース章受章

令和元年11月20日に南6病棟師長の岩橋佳代氏が永年にわたり看護師として積極的に業務の遂行に努力され、看護の向上に多大の貢献をされたとして、和歌山県知事より和歌山県ナース章が贈られました。

長年にわたる岩橋氏の努力に敬意を表するとともに、このたびのご受章を心よりお祝い申し上げます



岩橋 佳代氏

「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

長谷川内科医院

診療科目 内科、胃腸科、循環器内科、呼吸器科、放射線科
リハビリテーション科

住 所 〒640-8441 和歌山県和歌山市栄谷2-3

電 話 073-457-2339



はせがわ しょういち
理事長 長谷川 庄一 先生



長谷川内科医院は平成9年9月に和歌山市栄谷に開設されました。長谷川 庄一先生は開業当初からプライマリーケアのような初期医療を行い、病気を早く見つけて地域の皆さまの入り口になるような総合診療をモットーに尽力されています。総合診療なので、高血圧、糖尿病のような成人病や急性疾患など幅広い診療をされていますが、開業される前に肝臓・消化器を専門に学ばれていたため、肝臓に関する特定疾患なども診察されています。

現在では長谷川 智己先生（院長のご子息）と交互に診療をし、数年後には後継することも考えられており、患者さまのために長く続くような、地域に貢献する医療機関を目指しておられます。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、かかすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

	月	火	水	木	金	土
午前	院長	長谷川 智	院長	院長	長谷川 智	長谷川 智
午後	院長	長谷川 智	院長		院長	

長谷川内科 医院 診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9時～12時)	○	○	○	○	○	○	休
午後 (16時～19時)	○	○	○	休	○	休	休

※休診日：日曜・祝日

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和2年2月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	松本 怜佳	三長 敬昌	山本 昇平	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	-	
脳神経内科	A	⑪番	梶本 賢輔	(午前)神崎 和紀	休診	梶本 賢輔	梶本 賢輔	-
⑭番	-	(午後)中谷 公美子	神崎 和紀	-				
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	(午前)大岩 健洋	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	当番医	細 隆信	庄野 剛史	-
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	当番医	
		⑪番	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	
消化器内科	B	⑫番	与田 武徳	津田 郁久	加治 汐梨	垣本 哲宏	内視鏡センター診 与田 武徳	-
		⑬番	玉井 秀幸 (肝臓内科)	岡村 順平 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	
		⑯番	有田 祐	九鬼 新太郎	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	
循環器内科	A	⑧番	当番医	-	当番医	-	当番医	火・木
小児科	C	⑨番	上田 美奈	上田 美奈	大元 浩明	小森 有紀	上田 美奈	-
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	長谷 朋香	長谷 朋香	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	-	大元 浩明	上田 美奈	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
		特診⑩	大元 浩明	上田【予防接種】	長谷 朋香	小森 有紀	長谷 朋香	
		心工 コー	-	-	-	1・3週 心工コー 根来 博之	-	
外科	B	⑦番	小林 康人	坂口 聡	岩橋 誠	肝・胆・膵 小林 康人	上部消化管 山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	山本 基	清水 敦史	坂口 聡	胃・大腸・食道 岩橋 誠	清水 敦史	
		⑨番	-	-	-	緩和ケア・NST外来 坂口 聡	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	岩橋 弘樹	スポーツ整形診 麻殖生 和博	中村 憲太	
		⑤番	中村 憲太	岩橋 弘樹	山東 茂樹	-	山東 茂樹	
		⑥番	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	
		⑨番	-	-	リウマチ・膠原病内科診 【第1・3・5週】 藏本 伸生 【第2・4週】 田中 克典	-	-	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	火・木
		⑬番	岡田 秀雄	-	辻 栄作	-	林 宣秀	
		⑭番	小山 佳輝	-	小山 佳輝	-	辻 栄作	
		救急特掲	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休診	当番医 (呼吸器・乳腺外科)	玉置 剛司(午前) (乳腺外来)	玉置 剛司 (乳腺外来)	休診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	丸山 希実子	下松 達哉	火
		②番	川口 亜美		川口 亜美	丸山 希実子	丸山 希実子	
		午後 予約	-		学童外来 下松 達哉	-	-	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	塔筋 央庸	休診	鈴木 淳史	休診	水・金
		②番	塔筋 央庸	梅本 秀俊		梅本 秀俊		
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	当番医	中田 久実子	当番医	中田 久実子	火・木
		⑬番	矢本 希夫	助産外来(予約制)	矢本 希夫	助産外来(予約制)	当番医	
		⑯番	谷本 敏	尾谷 功	竹中 由夏	谷本 敏	尾谷 功	
眼科	D	⑤番	(午前)坂東 肇 (午後)芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳 (予約制)	(午前)芦田 淳 第1週のみ (午後)三村 治	月・木
		⑥番	-	二出川 弘樹	二出川 弘樹	二出川 弘樹 (予約制)	(午後)二出川 弘樹	
		午後 予約	-	検査(予約制)	検査(予約制)	-	第1・3週 コンタクト(予約)	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明		福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	-		-	-	-	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-	
放射線科	D	1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	-
		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 【予約制】 A⑦番 D⑯番	-	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	-
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	肥満外来(1600~1600) 中 啓吾	-

(注1)

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 0.前月から変更がある部分については網掛けで表示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。
※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして
頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応でき
ない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間
がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願い
いたします》

【予約専用電話】 073-451-3186

お問い合わせは 和歌山ろうさい病院 医事課

TEL.073-451-3181(代)
FAX.073-451-3788(医事課直通)